



平成16年(2004)5月号
編集・発行/上尾市議会
埼玉県上尾市本町3-1-1
TEL 048 (775) 9467
<http://www.gikai.ageo.saitama.jp>

No. 125

あげお 議会だより



春がいっぱい 期待とちょっと不安(鴨川沿いと西小学校入学式より)

●主な内容

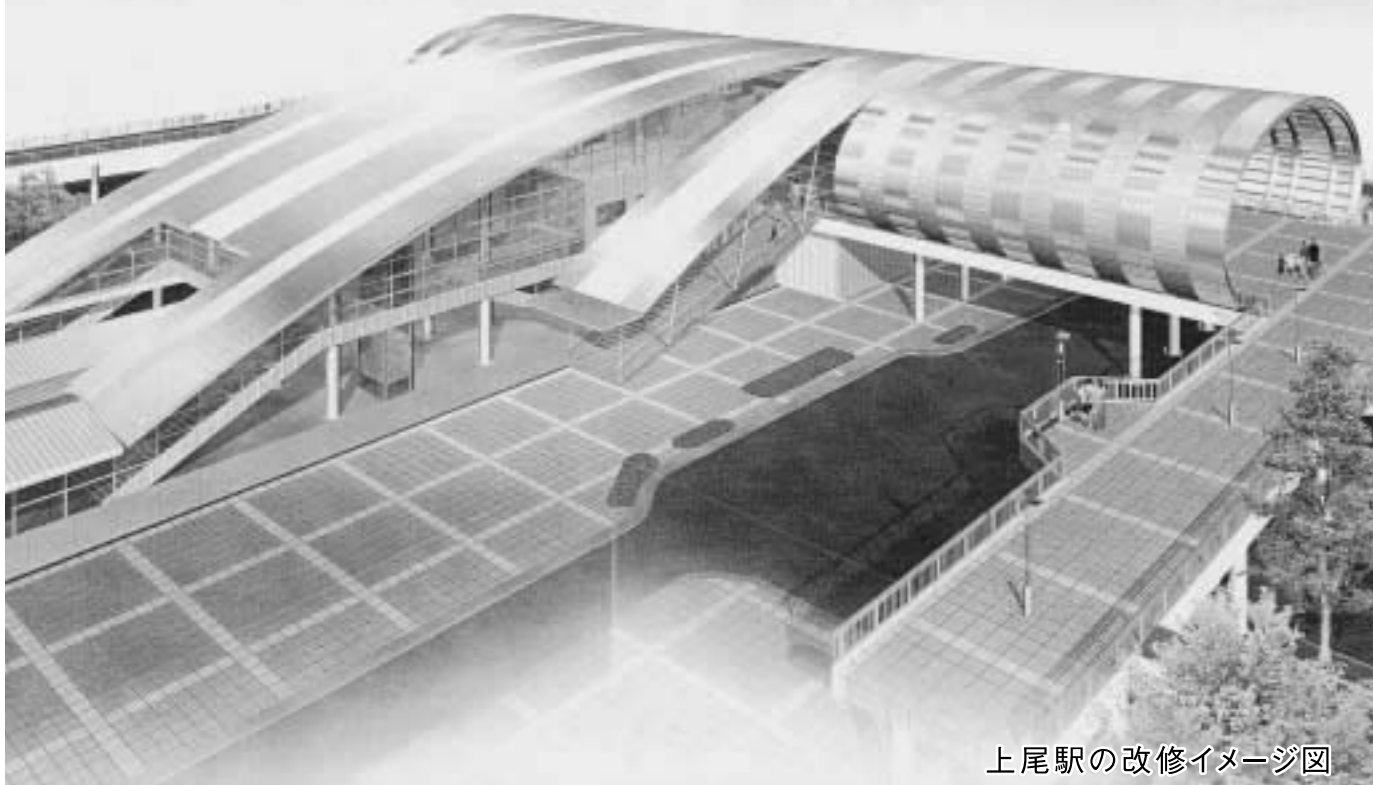
市長の提案説明	2～3 P
委員会の主な審査内容・討論	3～6 P
請願の結果	4 P
提出議案とその結果	7～8 P
市政に対する一般質問	9～13 P
委員会活動、意見書、傍聴席からひとこと	14 P

平成16年3月定例会日程

3月1日	開会、議案の上程 提出議案の説明
3月4日	議案に対する質疑、委員会付託
3月5・8日	総務・建設水道常任委員会
3月9・10日	文教経済・福祉消防常任委員会
3月12日	一般質問
3月15日	一般質問
3月17日	一般質問
3月18日	一般質問
3月23日	委員長報告、討論、採決 議案第32号、議案第33号の上程 採決 議員提出議案の上程 採決、閉会

3月定例会

地域イントラネット整備事業、(仮)原市複合施設整備事業、JR上尾駅改修にかかわる経費などを含む平成16年度一般会計予算など38議案を可決



上尾駅の改修イメージ図

3月定例会で審議した議案は、市長提出議案が32件、議員提出議案が7件の計39件で、38件を原案のとおり可決・同意し1件を否決しました。

市長の提案説明から

●平成16年度上尾市一般会計予算
 予算編成に当たっては、長期的な財政構造の転換に対応するため事業執行に柔軟、弾力的な対応を目的とした枠配分方式による予算の編成を行ったところです。既存経費の見直しの徹底とともに、市民にとって真に必要な高い事業への財源確保に努め、行財政3カ年実施計画で採択された事業についてはおおむね予算化できたと考えています。

この結果、一般会計予算額は551億3,400万円、前年度と比較すると11・4%の増加となりましたが、過去に発行した減税補てん債の借換債の分を除くと500億3,510万円となり、前年度比較では1・1%の増加となりました。

「思いやりのあるまち」では原



3月定例会市長の提案説明

市支所、保育所の老朽化に伴い、児童、子育て世代、高齢者が共に集える、総合的な地域コミュニティの拠点となるような複合施設を原市地区に建設するための経費を予算計上しました。

駅西側地区において、子供の社会性をはぐくみ、多世代にわたる地域交流が行える施設として児童館建設にかかわる用地買収費などを予算計上しました。

高齢者福祉では、高齢化が進む中でのシルバー人材センターの会員増加に伴い、事業拡大と円滑な就業促進のため、東部事務所建設にかかわる用地買収費及び工事費を新たに予算計上しました。

障害者福祉では、知的障害者の保護者、利用者の高齢化に伴う将来の入所に備えるため、ふじ学園管理棟を改修し、宿泊訓練の場を設置するための改修工事費補助金を新たに計上したほか、精神障害者の授産施設運営費支援にかかわ

平成16年度予算

◆主な新規事業◆

※1万円未満切り捨て

(総務費・消防費)

市広報番組の放映…………… 460万円
 行政評価システム導入検討事業…… 10万円
 文化都市宣言事業…………… 28万円
 地域イントラネット基盤施設整備事業

…………… 3億1,000万円
 (仮)西側児童館整備事業…… 2億9,679万円
 交通安全施設整備事業…………… 6,133万円
 (仮)平方分署整備事業…………… 6億1,630万円

(民生費・衛生費)

難病患者等日常生活用具給付費…………… 50万円
 上尾あゆみ会宿泊訓練施設改修工事費補助金
 ……………… 1,500万円
 精神障害者小規模授産施設運営費補助金
 ……………… 1,136万円
 シルバー人材センター東部事務所建設工事
 ……………… 2億5,637万円
 (仮)原市複合施設整備事業…………… 2,923万円

(農林水産業費・商工費・土木費)

J R上尾駅改修事業…………… 1億8,027万円
 市民街づくり活動支援事業…………… 60万円
 大谷北部第四地区調査・測量業務委託料
 ……………… 1,035万円

(教育費)

30人程度学級小学校1・2年生に加えて新たに中学校1年生で実施
 ……………… 1億2,973万円
 魅力ある学校づくり事業…………… 6,150万円
 生徒指導支援員事業…………… 430万円
 電動・手動車いす用階段昇降車整備
 ……………… 127万円
 屋上防水改修工事(東町小学校)
 ……………… 3,260万円
 校舎耐震診断等委託(小学校33棟、体育館15棟)
 ……………… 1,130万円
 校舎大規模改造工事(芝川小学校)
 ……………… 3億6,000万円

平成16年度会計別予算

(単位 千円)

区分	予算額
一般会計	55,134,000
特別会計	
国民健康保険会計	15,886,900
工業住宅団地開発事業会計	2,190
公共下水道事業会計	4,825,000
大谷北部第三土地区画整理事業会計	155,000
老人保健会計	11,109,000
介護保険会計	6,104,200
小計	38,082,290
企業会計	
水道事業会計	6,214,000
合計	99,430,290



シルバー人材センター事務所 (大谷地内)

る経費を新たに予算計上しました。
 「潤いのあるまち」では、緑化の推進及び緑の保全のため、当初予算において、みどりの基金に1億円以上の積立をします。
 また、リサイクル・ごみ処理では、産業廃棄物を適正に処理し環境の保全を図ることを目的として、さいたま環境整備推進事業積立金への予算を新たに計上しました。
 「安心・安全なまち」では、国から交通事故多発エリアとして指定を受けた市内のエリアについて、あんしん歩行エリア整備事業として、緊急的交通安全対策を講じるほか、道路交通の安全性向上のため、道路反射鏡、道路照明灯設置の私道への拡充に取り組みます。
 J R上尾駅の改修については、駅機能の強化と子ども、お年寄りに使いやすいバリアフリー化を図

るためJ R東日本に対し設計にかかわる負担金を計上しました。
 また、浸水被害解消のため、浅間川都市下水路の設計にかかわる経費を計上しました。
 このほか、消防行政では、消防体制の強化を図るための(仮)平方分署建設にかかわる工事費の計上や、消防力の維持、向上のため、消防車両の更新にかかわる経費と消防情報システム整備にかかわる経費を新たに予算計上しました。
 「活気と賑わいのあるまち」では、快適な生活環境基盤の整備や自立経営農業の育成を目指し農村総合整備事業を昨年度に引き続き予算計上しました。
 「心豊かなまち」では、学校教育で、小学校1・2年生で実施している30人程度学級「あげおっこアピールプラン」事業を、新たに中学校1年生にも導入するほか生徒の健全育成を推進強化していくために生徒指導支援員を配置する経費を新たに予算計上しました。
 また、平成16年度に本番を迎える「第59回彩の国まごころ国体」において、上尾市で開催される柔道、高校野球、自転車競技ロード・レースの円滑な運営のための経費を予算計上しました。

「計画推進に向けて」では、インターネットによる公共施設の予約など電子自治体の構築に向け地域イントラネット基盤施設整備事業を新たに実施します。
 委員 上尾駅整備対策費について 駅改修の整備内容について伺いたい。
 答 現在の自由通路をデパート館とサロン館を結ぶデッキから西側に70メートル、幅員25メートルに広げる。駅舎についてはバリアフリー化を基本とし、現在ある上尾駅の駅舎の全面的な改修を行いたい。西側部分については、今後の課題であり検討会で検討しているところである。
 委員 駅改修には、多くの市民

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道、福祉消防の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

文教経済常任委員会

当初予算 上尾駅改修工事に向けて 設計負担金を予算化

〈予算メモ〉 上尾駅整備対策費として1億8,027万円を計上。これは上尾駅舎をバリアフリー化し自由通路の拡幅改修を行うための基本設計と実施設計にかかわる経費をJ Rへの負担金として計上する予算などです。

の方の意見や声が反映される駅を作っていくことが大事である。実際利用されている市民の皆さんの意見を聞く努力をしていただきたい。

当初予算 環境センターごみ焼却炉の 施設補修を実施



西貝塚環境センター

〈予算メモ〉 西貝塚環境センターの焼却炉内側壁耐火物の補修工事費として5,000万円を計上。
委員 焼却炉は今後どのくらいもつのか、またごみ焼却灰処分はどのように考えているのか。

答 この焼却炉は稼働後6年半を経過している。建設当時は平成14年度にごみ処理計画がほぼいになるというところで建設したが、ごみ減量化の取り組みの中で、紙類の資源回収を始めたこともあり現在対前年比横ばいになっている。焼却炉の稼働率も非常に高く、耐

火物のレンガも傷んでいるので1炉当たり約10から12平方メートルのレンガの張り替え計画をしている。また、焼却灰については県が取り組んでいる資源循環型の処理工場や民間企業でのセメント原料化について今後も参加していきたい。

当初予算 30人程度学級を中学校 1年生にも拡大

〈予算メモ〉 現在小学校1・2年生に実施した少人数学級制度を中学校1年生まで拡大するための経費を含む30人程度学級「あげおつ子アッピープラン」事業として1億2,973万4,000円を計上。

委員 今後ほかの学年にも拡大する方針があるのか。
答 小学校1・2年生の30人程度学級は、幼児期教育から小学校教育への円滑な移行を目指している。

委員 今後1年生への導入は、学級担任制の小学校から教科担任制をとる中学校への接続部分の円滑な移行を目指して実施するものである。今後は、現状のこれらの成果を検証しながらどのように進むべきか研究させていただきたい。

委員 教師と児童・生徒の信頼し合える関係が重要だ。拡大の努力と県や国に責任を持った教員の

総務常任委員会

配置を要望していただきたい。

当初予算 電子自治体向け地域イント ラネット基盤施設整備を実施

〈予算メモ〉 市役所の電算室と市内の小・中学校を含む公共施設約100カ所を光ファイバーで結び高速大容量の情報通信網を整備する地域イントラネット整備経費として3億1,000万円を計上。

委員 地域イントラネット基盤施設整備委託料について、光ケーブルの導入については、時代の流れから必要なことと思うが、昨今、ハッキングや迷惑メールなどの外部からの侵入に対する対策はどのように考えているのか。

答 地域イントラネットの安全性については、現在のところ、市役所第3別館と本庁舎との間に光ケーブルが2本通っており1本は住民記録関係、もう1本は職員のメール交換や情報の掲示板などに使われており、今後も戸籍住民記録関係を使うケーブルと地域イントラネットのケーブルとは別ということと考えている。サーバーの維持管理についてはファイアーウォールなどで二重、三重での対策を考えている。またウイルス対策については、ソフトなどの一括管理をして、各パソコンの状態はネ

用語集

- 〈イントラネット〉 インターネットの技術を用いて構築された組織内の閉ざされたネットワークのこと。
- 〈ハッキング〉 他人のコンピューターシステムを不正な手段で改造したり、操作すること。
- 〈サーバー〉 コンピューターネットワークにおいて、さまざまなサービスを提供するためのコンピューターやその機能のこと。
- 〈ファイアーウォール〉 組織内のコンピューターネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステム
- 〈ウイルス(コンピューターウイルス)〉 他人のコンピューターに勝手に入り込んで、画面表示したりするプログラムのこと。

ットワークを通じて定期的に更新を行い、セキュリティに関する十分な対策を立てていきたいと考えている。

委員 何を住民サービスとして提供するのか。

答 公民館、文化センター、体育館などの施設の貸し出しを各家庭のインターネットからできるようにしたい。家庭に機器がない人については、公衆端末を各施設に設置し自由に使えるようにする予定である。さらに将来的には市に對するさまざまな申請関係もできるように想定している。また、内部的にも文書の電子化や決裁の電子化などを進め事務改善にもつなげたいと考えている。

▼請願の結果▲

市民の皆さんから提出された請願は、委員会審査を経て3月23日の本会議で採決し、1件を採択しました。

採択された請願

▽公団住宅を安心して住み続けられる公共住宅として維持するため、独立行政法人都市再生機構法に對する国会の附帯決議の全面実現を要請する意見書提出に関する請願

上尾市大字小敷谷861番地(西上尾第一団地自治会事務所)代表者 西上尾第一団地自治会理事長 鈴木照子 原市団地自治会会長 戸口佐一 尾山台団地自治会会長 尾上道雄 西上尾第二団地自治会会長 安部 豊 外12, 377人

不採択となった請願

▽誰もが安心して暮らせる年金制度を求める請願

上尾市大字菅谷295番地 代表者 上尾・楠川・伊奈労働組合連合会 議長 中里清志

報などの番組をテレビ埼玉で放映しイメージアップを図るため委託料として460万6,000円を計上。
委員 どの程度の効果をねらっているのか。

答 今のところ奇数月の年6回で再放送を含めて全部で12回の放送を考えている。「あなたにげんきをおくるまち上尾市」の生の姿を広く、発信していきたいと考えている。

当初予算 テレビ埼玉で上尾市の 広報番組を放映

〈予算メモ〉 上尾市の行政情報、生活情報、観光情報、イベント情

当初予算
女性の相談事業の
内容は

〈予算メモ〉 女性の抱えるさまざまな悩みの相談を専門カウンセラーによって実施する女性相談業務委託料、弁護士謝礼として140万7,000円を計上。

委員 女性相談の窓口がとても充実して、相談も増えていると聞いている。どのような対応か伺いたい。

答 女性相談については、法律相談と悩みの相談を実施している。法律相談については、月1回午後1時から4時まで女性の弁護士が対応し、一般の悩みの相談については、毎週水曜日午前10時から午

後4時まで、専門のカウンセラーが対応をしている。申し込み方法は電話予約となっていてはほぼ100%近い予約状況である。

建設水道常任委員会

当初予算
上尾平方線の歩道
整備工事を実施

〈予算メモ〉 上尾平方線整備工事費として8,000万円を計上。

これはゆりが丘公園から県道上尾環状線までの770メートルの上尾平方線南側の歩道整備を行うものです。

委員 今後の見通しはどうなっているのか。

答 上尾平方線は幅員20メートル



上尾平方線整備箇所

の計画決定であり、両側に3・5メートルずつの歩道をつくる予定になっている。駅の方から西側に向かって右側については、大谷北部第二土地区画整理事業で歩道の整備などを行う予定になっているので、16年度で左側の整備を完成させたい。

条例制定
街づくり推進条例を
制定

○上尾市街づくり推進条例の制定について

この条例は上尾市都市計画マスタープランの方針に沿い、市民、事業者及び市の協働によるまちづくりを実現するため条例を制定するものです。

委員 第4条2項の市民の責務について市民の負担を強いる場合があるため規定したとのことだが、どのような内容か。

答 この条項については、市民がまちづくりを手がけていく上では市民同士がコンセンサスを得て、互いにその役割や責任、負担を話し合いながら実現していくことが必要であると考えている。なお、市民の負担を強いる場合の具体例としては、区画整理事業を行った場合の減歩や清算金、地区計画制度を導入した場合の土地利用の制限、街づくり協議会の運営にかかわる経費の一部負担などが挙げられる。

福祉消防常任委員会

(仮)原市複合施設

当初予算
建設に向け予算を計上

〈予算メモ〉 原市支所、原市保

育所、高齢者施設、児童福祉施設を併せ持った(仮)原市複合施設建設の用地測量業務委託料及び実施設計委託料など2,923万7,000円を計上。

委員 多くの父母の願いで保育所送迎のとき、特に雨天の布団の運搬などを考慮して搬入屋根をつけて欲しいとの要望があるが。

答 上尾西保育所を建設したときも送迎駐車場について苦慮し道路側に塀を設けないでスペースを取った。今後検討していきたい。

当初予算
シルバー人材センター
東部事務所を建設

〈予算メモ〉 シルバー人材セン

ター東部事務所を建設するため建設工事費、公有財産購入費など2億5,637万4,000円を計上。

委員 シルバー人材センターの仕事の受注状況を伺いたい。

答 決算ベースで平成12年度末の会員数が1,290人、契約額が5億4,900万円、平成13年度末の会員数が1,293人、契約額が5億8,700万円、平成14年度末の会員数が1,385人、契約額が6億4,300万円と伸びている。

委員 人員配置はどのように考えているのか。またふすま張りや自転車関係で使用している本町にある施設はどうするのか。

上尾市、桶川市、伊奈町との合併問題
調査研究会を開催し推進協議会
を設立



3回開催された合併問題調査研究会

上尾市議会では、桶川市及び桶川市議会からの合併協議の申し入れ(昨年8月)を踏まえ合併問題に関する調査研究を行うために、議員改選後の本年の1月及び2月に3回にわたって合併問題調査研究会を開催しました。

主な内容は、

第1回 合併問題の背景、全国・県内の状況、上尾市の近隣の状況、市町村合併の手続き・課題等概要など。

第2回 合併協議における主な協定項目、桶川市・伊奈町の現況と課題、市町村建設計画など。

第3回 合併協議会の組織・体制、行政概要実態調査、上尾市・桶川市・伊奈町合併研究報告書などです。(⇒これらの資料は上尾市役所のホームページでご覧になれます。http://www.city.ageo.saitama.jp/)

これらの研究会での調査検討を踏まえ、さらに2市1町(上尾市・桶川市・伊奈町)の合併による魅力あるまちづくりを実現することを目的として、3月18日に議員25人による上尾市議会合併推進協議会を設立し活動を行うことになりました。

答 職員は2人ないし3人を配置することで調整している。本町の建物については、土地も建物も借用しているので返すことを基本的に考えているが、現状は学習教室や放置自転車の置き場、リサイクル場所としても使用されているので今後内部調整なども含め検討したい。

当初予算 あんしん歩行エリアの 整備を実施



あんしん歩行エリアに指定された整備予定の浅間台地内

〈予算メモ〉 道路照明灯設置工事、道路反射鏡設置工事などの交通安全施設整備事業として6,133万5,000円を計上し350万円をあんしん歩行エリアに充当。

委員 あんしん歩行エリアという新規事業が出ているがその内容について伺いたい。

答 あんしん歩行エリアについては平成15年度に国から小泉区画

整理地すべて、三井住宅、浅間台地区の一部の200ヘクタールの指定があった。一般的な地域に比べ事故が20%高い地域であり3カ年をもって整備していく地域である。内容は危険箇所視線誘導標設置工事、区画線標示工事などを予定している。

今議会で決まった人事

公平委員会委員に

倉谷孝一郎 氏

公平委員会委員 長澤格治氏の任期は、平成16年3月31日で満了となるため、後任として倉谷孝一郎氏を選任することについて同意を求められ全会一致で同意しました。

▽倉谷孝一郎氏/66歳

住所は上尾市大字平方1153番地
助役に

陸田隆之 氏

欠員となっていた助役に陸田隆之氏を選任することについて同意を求められ賛成多数で同意しました。

▽陸田隆之氏/59歳

住所は鴻巣市氷川町26番地27

収入役に

大木孝二 氏

収入役 小川昭一氏の後任として大木孝二氏を選任することについて同意を求められ全会一致で同意しました。

▽大木孝二氏/58歳

住所は上尾市大字上504番地30

賛成討論 要旨

平成16年度一般会計予算に賛成する。

厳しい財政下、行財政3カ年実施計画で採択された各種事業を積極的に取り込み22万市民の幸せを願う安心、安全、元気な上尾づくりの予算編成がなされプラスの予算計上がされたのを評価したい。

コンピュータ時代の今日、電子自治体構築は必要不可欠なものとなっており、市内公共施設約100カ所を光ファイバーで結び市政に対する意見や要望を反映させたり、公共施設の予約手続きが行えるようにするものとして賛成する。

商工費について、1日約8万人の乗降客で賑わう上尾駅について、駅機能の充実を図りバリアフリーを考慮し、子どもからお年寄り、障害を持った方々にも安心・安全に利用できるよう駅舎改修のための関連予算に賛成する。

平成16年度一般会計予算に賛成する。

国の三位一体改革による地方交付税の減収が見込まれ、限られた財源の中で2年ぶりに前年度を上回る積極的な予算として評価する。

特にきめ細やかな学習環境を整える上での、中学校1年生への30人程度学級の導入。高齢者の生きがい、働く場のさらなる充実を目指してのシルバー人材センター東部事務所の建設。子育て支援の一

環として、多世代にわたる地域交流が行える場としての西側児童館の建設。原市複合施設整備事業など市民にとって期待の持てる内容である。

誰もが安心して暮らせる年金制度を求める請願に賛成する。

今国会に提案されている年金改革法案は、国民の生存権を侵害し国民年金の土台を否定する歴史的改悪である。年金制度の改革にあたっては保険料の値上げと給付の引き下げではなく国庫負担を増やし149兆円の巨額の年金積立金を活用するなど制度の安定を図ることが必要である。無駄な税金の使い方を改め全額国庫負担による最低保障年金制度を創設し無年金者をなくすことを主張する。

反対討論 要旨

平成16年度一般会計予算に反対する。

憲法第9条に違反している自衛官募集事務に協力することに反対する。全国の自治体でも同和行政の結核は基本的な流れになっている。いまだに人権推進という名を変えただけで同和行政同様の特権を要求している団体があり、これらの予算に反対する。68歳、69歳の老人医療費の助成制度は30年来続いてきた制度である。早期発見早期治療の精神に反するものでありその削減に反対する。上尾駅改修計画負担金についてバリアフリー化

の駅舎改修については多くの市民の願いであり実施すべきであるが、どのような駅ができるか全体像や財源が明らかにされないなかで本当に25メートルのデッキが必要なのか再検討する必要がある。

平成16年度一般会計予算に反対する。

東洋一のガス充てん施設建設に関し安全、安心なまちづくりの点で住民の避難場所の確保などが具体的に予算化されておらず賛成できない。上尾駅舎改修工事についてその予算は借入金となる。税収が伸び悩む中、特に個人市民税が大きな役割を占めていることを考慮し、また今後の地方交付税の減額を考慮するとたくさんさんの経費をかけるべきではない。市職員の給与の減額は民間の景気回復への影響もあり検討すべきだ。

街づくり推進条例の制定について反対する。

原案の条例では市民の役割、責任、負担が明確でない。市の責務において議会、市長の責務を入れ替えて責任の所在が明確になる。富士見市の条例では職員が明記されている。街づくり推進会議の各委員の選任する人数が明確ではない。街づくり協議会への助成金支給の明確な規定がなく誰がそれをチェックするのが定められていないなど法律的に盛り込まれるべきことが盛り込まれていないので原案に反対する。

平成16年 3 月定例会提出議案とその結果

◎市長提出議案（32件）

○=賛成

×=反対

△=賛成・反対

議案番号	件 名	議決結果	新政	共産	未来	市民	公明	無党派
議案第 2 号	平成15年度上尾市一般会計補正予算（第 6 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 3 号	平成15年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	平成15年度上尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 5 号	平成15年度上尾市大谷北部第三土地区画整理事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 6 号	平成15年度上尾市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	平成16年度上尾市一般会計予算	原案可決	○	×	○	○	○	△
議案第 8 号	平成16年度上尾市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	平成16年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成16年度上尾市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成16年度上尾市大谷北部第三土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成16年度上尾市老人保健特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成16年度上尾市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成16年度上尾市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第15号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第16号	上尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第17号	国立大学法人法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律及び地方独立行政法人法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第18号	上尾市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第19号	上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第20号	上尾市街づくり推進条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	×
議案第21号	上尾市法定外公共物管理条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第22号	上尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第23号	公の施設の指定管理者の指定について（自然学習館）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第24号	公の施設の指定管理者の指定について（バーベキュー場）	原案可決	○	○	○	○	○	○

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	未来	市民	公明	無党派
議案第25号	市道路線の認定について（大字小泉地内ほか18路線）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第26号	市道路線の認定について（大字上野地内2路線）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第27号	市道路線の認定について（大字平塚地内19路線）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第28号	市道路線の廃止について（大字上野地内1路線）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第29号	市道路線の廃止について（大字平塚地内2路線）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第30号	公平委員会委員の選任について（倉谷孝一郎氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○
議案第31号	上尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第32号	助役の選任について（陸田隆之氏）	原案同意	○	×	○	○	○	×
議案第33号	収入役の選任について（大木孝二氏）	原案同意	○	○	○	○	○	○

◎議員提出議案（7件）

議案番号	件名	議決結果	新政	共産	未来	市民	公明	無党派
議第1号議案	生活関連公共事業費の増額に関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第2号議案	介護保険制度の見直しに向けて安心して受けられる制度にすることを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第3号議案	ディーゼル車排ガス規制に関する意見書	原案可決	×	○	○	○	○	○
議第4号議案	生活保護制度の改善・拡充を求める意見書	原案可決	×	○	×	○	○	△
議第5号議案	年金の改悪をしないことを求める意見書	原案否決	×	○	×	○	×	×
議第6号議案	65歳まで働ける雇用環境の整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	×
議第7号議案	独立行政法人都市再生機構法に対する国会附帯決議の全面的実現を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○

◎請願（2件）

請願番号	件名	議決結果	新政	共産	未来	市民	公明	無党派
請願第1号	公団住宅を安心して住み続けられる公共住宅として維持するため、独立行政法人都市再生機構法に対する国会の附帯決議の全面実現を要請する意見書提出に関する請願	採 択	○	○	○	○	○	○
請願第2号	誰もが安心して暮らせる年金制度を求める請願	不 採 択	×	○	×	△	×	×

市政に対する一般質問

ここが問題 そこが聞きたい

福祉・保健

乳幼児医療費無料制度の所得制限の撤廃を

問

乳幼児医療費については、就学前までを対象に無料化に取り組んできたが、乳幼児の医療費を支給しているその意義からすると、所得のある、なしにかかわらず、安心して子どもたちが医者にかかることができるようにするためにも、所得制限の撤廃の実現について市の考えを伺いたい。

答

乳幼児医療費支給制度は乳幼児が必要とする医療を容易に受けられるようにするため、医療費の一部を支給することにより、乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的としている。上尾市においても、昭和48年7月よりゼロ歳児を対象に乳幼児医療費支給制度が始まり、その後改正を経て、平成13年7月から対象

年齢を入院は就学前まで、通院は4歳児未満までに拡大し、平成14年1月からは入院、通院とも就学前までに拡大したところである。ただし、4歳以上に關しては、その対象乳幼児を現に看護している主たる生計維持者の所得金額が544万円以上の場合には対象とはならない。

市では昨年9月1日から乳幼児医療費の窓口払いの解消を実施したところであるが、所得制限の撤廃については今後検討していきたい。

児童虐待の防止対策は

問

現在は、多様化する家族の形の中でゆがみやひずみが生じ、家族が抱えるさまざまな問題が表面化している。太平洋に浮かぶ木の葉、このように例えられる家族が増えていると言われている。そこで児童虐待についての相談

が、多様化する家族の形の中でゆがみやひずみが生じ、家族が抱えるさまざまな問題が表面化している。太平洋に浮かぶ木の葉、このように例えられる家族が増えていると言われている。そこで児童虐待についての相談

3月定例会の一般質問は、3月12・15・17・18日の4日間行われ、19人の議員が登壇し、市政全般53項目にわたって市当局の見解を求めました。また、この4日間で262人の皆さんが議会を傍聴しました。一般質問の主な内容は次のとおりです。



乳幼児相談センター初めての子育て教室

答

平成15年度の児童虐待の相談件数は12月までの9か月で26件あり、そのうち調査の結果、虐待ではなかったものが2件あったが、年々増加傾向にある。虐待内容については、身体的虐待が11件、放置・保護の怠慢であるネグレクトが10件、言葉の暴力・存在無視などの心理的虐待が2件、性的虐待が1件となっている。特にネグレクトケースの占める割合が増加しており、家庭における育児能力が低下していることがうかが

が、多様化する家族の形の中でゆがみやひずみが生じ、家族が抱えるさまざまな問題が表面化している。太平洋に浮かぶ木の葉、このように例えられる家族が増えていると言われている。そこで児童虐待についての相談

がわれる。

このようなことから今後さらに、児童虐待防止ネットワーク会議を中心に関係機関とのネットワークを深め、児童虐待の予防、早期発見、早期対応に取り組んでいきたい。

介護保険料の減免制度の拡充を

問

2005年度の介護保険制度見直しに当たっては、介護の困難を解消するためのものにすべきであり、国民負担を増やしたり、サービスを切り縮めることがあってはならない。そこで介護保険料の減免制度の拡充が求められているが、市の考えは。また、介護保険制度の問題点をどのように考えるのか伺いたい。

答

減免制度は保険料の負担が困難な人に対する施策として必要なことであり、今後も現行の市独自の減免制度の中で対応していきたい。

また、制度の問題点については、介護保険法では、国は保険給付費の20%を負担し、調整交付金5%は市町村の状況に応じて交付することとなっているが、全国的な均衡を図るための財政調整は国の責任において行うべきであり、財源構成における公費2分の1の原則

3月定例会の一般質問

質問順に掲載（本文の記事は順不同）

田中 守

- ・市長の施政方針
- ・新たな予算編成の手法の導入
- ・上尾市における行政評価制度の導入検討経緯
- ・上尾市街づくり推進条例の活用

田中 元三郎

- ・上尾伊奈斎場つつじ苑
- ・市庁舎土日開庁
- ・教育問題

島村 充

- ・コミュニティビジネスの育成
- ・上尾駅改修事業と駅前駐輪場の増設
- ・政策評価と第三者による事業の外部評価

斉藤 隆志

- ・上尾市文化センター
- ・芝川周辺の環境整備
- ・自然環境の保全

糟谷 珠紀

- ・憲法の基本・平和と民主主義の理念が生きる市政を
- ・公的責任で待機児童の解消を
- ・北上尾駅東口とPAPAの間の交通安全対策

は、どの保険者にも適用されるべきものと考ええる。

市として、これまでも国に対して県や県市長会を通じ問題点について要望してきたが、今後も機会あるごとに要望をしていきたい。

環境・産業

東洋一のガス充てん場建設をめぐる市の見解は

問

平方地区に現在建設中の内陸部では東洋一と言われるガス充てん場について、市は中立であり、住民側にも企業側にもつかないとこれまで一貫して言われてきたが、この間地域住民は大変な思いで運動してきた経過があり、市としての見解を伺いたい。

答

ガス充てん場建設に当たっては、地域住民の安全で安心して住み続けたいとの切なる要望に対し、市としても強く反対することを(株)サイサンに申し出るとともに、県にも高圧ガス法に基づく許可について企業と住民の話し合いがつくまでは、許可を考慮していただくよう要望したところである。

しかし、平成15年10月8日付で許可が出されたことから、市としては今後も地域住民と連携を図りながら、安全で安心して暮らせる



建設中のガス充てん場 (平方地内)

環境を確保するよう引き続き努力していきたい。

コミュニティビジネスの醸成のための施策は

問

生き生き働けるまち上尾、年をとっても充実した人生が送れるまち上尾を実現し、社会の発展に寄与するためには、コミュニティビジネスを醸成し、既存事業に対する各種支援や認定活動などの施策が必要であると考え、市の見解を伺いたい。

答

市としては、まず商工業を中心とした産業の振興と勤労者福祉のための支援策が重要であると認識している。とりわけ女性や中高年齢者などの雇用、就労の確保は生き生きとした市民生活の維持の面からも重要であり、中小企業の融資制度をはじめ、勤

労者福祉サービスセンターにおける勤労者福祉向上のためのさまざまな事業展開、ワークプラザにおける就労あっせんや、再就職者のためのパソコン教室など、就労のための事業を行っている。

しかしながら、コミュニティビジネスが新しいビジネスによる地域サービスの担い手としていろいろな分野で注目されており、今後これを支援するための研究も必要と考えている。

住宅リフォーム助成制度創設についての見解は

問

住宅リフォーム助成制度は、市内の小規模業者が施工する住宅修繕に市が助成を行うことによって、中高年齢層を中心に要求の強いバリアフリー化の促進を図り、安心、安全に住み続けられることを現実化することである。同時に、助成金を呼び水にした市内小規模業者の受注機会を拡大し、公的資金と民間個人資金の投入によって市内の景気浮揚も図られることになる。

そこで、住宅リフォーム助成制度の創設について市長の見解を伺いたい。

答

景気浮揚対策として市では、平成14年度に1億円の補正予算を組み市内小規模業者に

を実施し、15年度においても同規模の額で引き続き実施してきたところである。

住宅リフォーム助成制度の創設については、今後の経済動向などを総合的に判断して、また多くの人たちの意見を伺いながら、前向きに考えていきたい。

道路照明灯の設置基準及び整備計画は



設置要望の多い道路照明灯

問

市が取り組む防犯という観点から、街路灯の充実は極めて意味があると考えている。そこで道路照明灯の設置基準及び今後の整備計画について伺いたい。

答

設置基準については、道路照明灯設置及び管理要綱に基づき、おおむね60メートル間隔での設置を基本としている。また、交差点や横断歩道の付近、急

児玉 晋

・住宅リフォーム助成制度の創設

・小敷谷今泉線「マミーマー」前に信号機の設置を
・大正製薬運動場の跡地利用

橋北 富雄

・市税の動向
・環境問題
・環境問題
・子育て支援

鴨田 幸子

・子育て支援
・防犯対策

道下 文男

・少人数学級
・空き教室の現状と今後の活用方法
・小学校通学路における問題点及び現状の対策状況

伊藤 美佐子

・児童の安全対策
・健やかで健全な子育て支援
・学校の水の安全管理

谷澤 公彦

・安心・安全なまちづくり
・街路灯の充実
・上尾市情報化基本計画・推進計画
・選挙の投票率低下とその対策

遠藤 朝子

・老後も安心して暮らせる街に
・原市地域の交通安全対策

カーブなどの道路の構造が急激に変化する場所、樹木や建物などの環境の変化により、夜間交通上危険であると考えられる場所についても、現地に即応した明るさの照明器具を設置している。

整備計画については、各事務区長に対して道路照明灯の設置要望を取りまとめた上で、その要望に基づき、道路状況、交通状況はもちろんのこと、道路周辺の土地利用、交通施設などの周辺環境について必要な調査をして、より効果的な整備計画を策定していく予定である。

今後も市民の交通安全、そして防犯を徹底する上からも、だれもが安心、安全に暮らせるまちづくりを積極的に推進していきたい。

教 育

子どもや保護者の不安解消に向けた取り組みは

問 現在進められている上尾市幼児教育振興協議会は、子どもたちが幼児から小学校に入学する過程での重要なかけ橋として毎年開催されてきた。今後、各小学校区で教職員の連絡協議会をつくり、相互の情報提供を図り、さらに年長児の学校訪問を行うことができるようになれば、子ども

や保護者の不安感の解消となると思うが見解を伺いたい。

答 教育委員会としては、幼稚園、保育所、小学校の連携、交流をすることを目的として保、幼、小の教職員が一堂に会し研修会や相互参観を実施してきたところである。これを各小学校区単位にまで細分化して、情報交換や相互の連携を図ることは、子どもの成長の無理のない連続性を考慮し、保護者や子どもたちの就学への不安を取り除く意味からも大切なことと考えており、その実現への方策を今後検討していきたい。

通学路における安全対策は

問 安全なまちづくりを指し、大切な児童の安全確保は最重要課題であると思われる。そこで市内通学路の危険個所の掌握と今後の対策について伺いたい。

答 通学路における問題点としては、ガードレールや信号機の設置など交通安全上の問題、街路灯の設置や不審者対策などの防犯上の問題など多岐にわたっている。これらに対し、学校では保護者、地域の方々との情報を共有しながら、危険個所の把握はもとより、積極的に安全確保に対応している。教育委員会としては、特に昨今の不審者に対し、教職員、



通学路の登校風景 (上尾小学校)

児童・生徒、保護者、それぞれの目線での通学路の再点検を各学校に指示し、被害を未然に防ぐための対応に努めている。また、不審者が現れた場合などには、現場付近の小・中学校などと併せて、状況により市内全小・中学校、幼稚園、保育所への緊急連絡体制についても整備を進めているところである。

今後とも各学校、地域及び関係機関との連携を図りながら、通学路における安全対策について進めていきたい。

鳥インフルエンザに対する対応は

問 高病原性鳥インフルエンザが山口県などで発生し、さらに拡大する危険性があるというが、市としても万全を期すため、きちんとした対応、安全な体制づ

くりが必要であると思われる。

そこで、学校への指導状況、今後の対応について見解を伺いたい。

答 本年1月に山口県で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認された後、直ちに学校で飼育している鳥などに異常があった場合には、埼玉県中央家畜保健衛生所へ連絡し、指導を受けるように指示をした。また、2月に入ってから感染予防上の留意点や、異常があった場合の対応について、文部科学省、厚生労働省、農林水産省や日本獣医師会などからの資料を参考にして、3回にわたり学校に対し、早急な対応を促したところである。

今後も、県教育委員会からの情報提供や指示に基づき、各学校が適切な対応を図れるよう、引き続き指導、援助を行うとともに関係機関との連携を密にし、かつ児童生徒の安全を第一に対応ができるよう指導、助言に努めていきたい。

不登校児童・生徒の対策に携帯電話やメールの活用を

問 不登校児童・生徒は、全体的には増えている状況にある。そうした子どもたちは、人と会ったり話をしたりするのを嫌がる傾向にあるが、中には携帯電話やパソコンによるメールに興味を持ち、いろいろな情報を収集し

森島 岐代子

- ・住民が主人公の市政と合併問題
- ・男女共同参画条例制定のその後の取り組み

武藤 政春

- ・上尾市の行財政運営
- ・学校教育の課題解決にむけて

松本 清作

- ・中山道東側地区第一種市街地再開発事業のその後の経過
- ・青少年問題
- ・教育問題

秋山 かほる

- ・東洋一のガス充てん場建設をめぐる上尾市の対応
- ・義務教育で使用する教材の保護者負担

畠山 稔

- ・戸崎地区埋立跡地利用
- ・上尾市サッカー場夜間照明灯の設置を
- ・市民体育館トレーニング室有効活用

鍵山 節子

- ・国保税の減免制度の拡充を
- ・乳幼児医療費無料制度の所得制限の撤廃を

西村 テル子

- ・市長の政治姿勢
- ・原市7区いこいの広場の存続

ている児童・生徒もいると聞いている。そこで、携帯電話やメールを活用した指導を検討すべきと思うが、市の見解を伺いたい。

答

不登校児童・生徒の早期発見、早期対応をはじめ一層きめ細かな支援を行うため、平成15年度より2年間にわたり文部科学省からスクーリングサポートネットワーク事業の委託を受け、各種事業を展開している。具体的には、専属の指導員を雇用し、各学校の不登校対策や職員への指導を行うとともに、近隣自治体との連携を進めている。携帯電話やメールなどを活用した不登校児童・生徒への指導は、特に引きこもり傾向にある児童・生徒や人とのかわりが苦手な児童・生徒については、相談などのきつかけとして活用することは有効であると思われる。今後、不登校児童・生徒や保護者の状況やニーズに合った効果的な対策を講じるために電子メール利用について研究していきたい。

答

昨年9月から11月にかけて、市内において不審者による事件が13件発生した。幸い大事に至らなかったが、この種の事件が頻発していることから、市内小・中学校の全児童・生徒に防犯ブザーを配布したところである。このブザーの使用方法や携帯の仕方などについては各学校で指導するとともに、各家庭にも文書で周知したところである。



戸崎地区埋立跡地

また、地域の方々にも小・中学生が防犯ブザーを携帯していることを知っていただくため「広報あげお」2月号に掲載した。学校においては、学校だよりを区長会を通して、回覧するなどの対応もしている。今後も地域の方々にも協力をお願いしながら、児童・生徒の安全確保に努めていきたいと考えている。

都市整備

戸崎地区埋立跡地利用の今後の取り組みは

問

戸崎地区埋立跡地利用については、行財政3カ年計画の中で、できる限り早い時期に公園、鴨川側道の整備ができるように関係部課に強く働きかけを行っているとのことだが、今後の取

り組みについて伺いたい。
答 この埋立地は、平成元年に戸崎東部地区農地整備組合が結成され、同組合と市が公共工事の建設残土による埋立整備事業を行うことを内容とした協定を締結し、平成7年度に約8・2ヘクタールの埋め立てが完了し、公園として土地利用に向けた要望が出ている。また大谷南部まちづくり計画を策定する中で、この埋立地は市民交流ゾーンに位置づけられている。
今後の予定としては、(仮称)戸崎東部公園として地区公園整備に向けて整備組合と十分協議検討を行い、また周辺地区等の説明会を実施し、大谷地区住民をはじめ多くの市民の意見を取り入れながら、基本構想を策定する予定である。その後関係機関と協議し所定の手続きを経て、都市計画決定などの手続きを進め、用地取得を含め努力していきたい。

芝川周辺の水辺環境保全と側道整備を

問

芝川周辺の環境整備について、上尾市都市計画マスタープランでは、将来都市構想で潤いのある水辺空間を創出する水と緑の脈として位置づけている。そこで芝川の水辺環境保全と芝川を活かした快適な遊歩道づくり、側道管理、管理道路などの整備について伺いたい。

答

市民の憩いの場として芝川都市下水路のオープンスペースの環境は重要で、しらかばと団地周辺のせせらぎ水路、文化センター前の親水公園、東町小学校わきの桜並木など美しい景観となっている。市としては、芝川都市下水路側道用地の残地のポケットパーク化を図り、都市下水路周



芝川の親水公園（文化センター前）

辺の潤いある環境を目指している。また、側道整備については、平成16年度国体開会までに日の出橋から農協橋の間約1,200メートルを連続して整備して開通させる運びになるが、右岸の側道は十分な幅員が取れないため、歩車道分離は難しいので視線誘導などの方策により対応を考えている。左岸側については、新橋からJR新幹線下までの間については今後の検討課題としていきたい。

北上尾駅東口の中山道とPAPAとの間の交差点の改良計画は

問

北上尾駅東口の中山道と大型ショッピングセンターPAPAとの間にある交差点は人通りも増え、特に朝の通勤通学時間帯は大変混雑し、危険な交差点である。そこで、この交差点の改良計画について伺いたい。

答

この交差点は、北上尾駅東口駅前から中山道に北上尾東口線、また中山道から東側に緑丘南線が都市計画決定され、北上尾東口線と中山道の西側歩道部の拡幅整備については区画整理事業により施工中であり、緑丘南線は全線開通し、供用開始となっている。しかし、中山道の東側歩道部の拡幅整備については県が整備することになっており、整備時期については未定の状況である。

問 昨今、子どもの連れ去りや学校への不審者の侵入などの事件が相次いでいる。そこで市として、小・中学生に対する防犯対策の取り組みについて伺いた

小・中学生に対する防犯対策は

当該個所は交通量が多く、交通渋滞が激しく、また北上尾駅の直近に位置し、駅への歩行者が年々増加している状況を見ると、安全で安心して歩ける歩道整備は最重要かつ緊急性があり、今後早期に県が事業に着手するようなお一層の働きかけをしていきたい。



北上尾駅東口中山道交差点

行財政一般

合併問題に対する市長の見解は

問

2年半前のさいたま市との合併について、住民投票の結果市民は合併を拒否して自立した市を選択し、市長も自立都市を表明したところである。それにもかかわらず今度は桶川市と伊奈町との合併を進めることは、到底納得できない。

そこで合併問題に対する市長の見解を伺いたい。

答

今回の合併問題については、桶川市からの合併協議の申し入れ、また伊奈町からの事務的協議の申し入れに基づき2市1町の事務レベルでの検討を重ねてきたところである。今後の合併に対しての基本的な考えは、上尾市の主体性を持った上尾の良さが生かせるまちづくりができるものであれば、そのための手法として合併も選択肢の一つであると考えている。いずれにしてもこの問題は議会と協調しながら、市民との対話を重視し、市民にとって真の魅力ある都市づくりを目指して取り組んでいきたい。

同和対策としての市税の減免制度の廃止を

問

同和対策としての市税の減免が根拠法がなくなってもなお続けられている。税は公正、公平であるべきでありこれまでも指摘をしてきたが、減免制度の廃止に向けた市の姿勢について伺いたい。

答

同和対策事業については平成14年3月で特別措置法に基づく特別対策が終了した。法期限後については、平成13年11月に市同和対策審議会の答申により、一般対策への円滑な移行を図るとともに、残された課題の解決や新たな課題に対応する施策を講じているところである。

市税の減免制度については、市内同和関係者の低所得者層の経済状況を考慮しつつ、平成14年度から平成18年度までに期限を限定し、かつ年度を経て減免の割合を低減していく内容となっている。市としては、市税の減免制度のあり方について、今後も市内同和関係者の経済状況を把握しながら慎重に検討していきたいと考えている。

市長3期目の施政方針は



土日開庁を進めている市庁舎1階

問

市長は、選挙の公約で「市民対話の重視」「行政改革と情報公開でスリム、透明、元気なまちづくり」を掲げた。そこで、3期目を迎え、どのような上尾市を目指していくのか。また、どの

ような行政組織を目指して運営をしていくのか伺いたい。

答

3期目の市政運営に当たり、市民が主役の市政を実現するため、目指すべき市役所像として三つのSを掲げた。一つ目はスリム「少数精鋭の経営体の構築」。二つ目はスピード「スピーディーな窓口対応」。三つ目はスペシヤリティー「全国に先駆けた施策の実施」。このような信念のもとにこれまで30人程度学級、ISO9001の認証取得、市役所の土日開庁などを実施してきた。今後は、引き続き上尾市の規模を生かし、考え、上尾市だからできる施策を積極的に実施していきたい。そして、市民が主役の市政の確立、開かれた市政、住む誇りの持てるまちづくりの実現を図り、都市間競争にも負けない上尾市政の独自性を出しながら市民の信頼にこたえるため、三つのSを目指し、安心、安全、元気な上尾づくりに全力で取り組んでいきたいと考えている。

市税の確保、徴収率向上に対する取り組み状況は

問

地方経済はまだまだ厳しい状態を脱していない。そういう中で、市財政の根幹である市税の確保、徴収率向上に対する取り組み状況、及び土日開庁実施に伴う収納額及び効果について伺

答

経済状況の悪化により市税の収納状況は厳しく毎年減少傾向である。収納率アップのため市では、休日訪問による滞納整理、休日納税相談、夜間電話催告などを行ってきた。このような取り組みの積み重ねが収納率の向上はもとより、納税の公平、公正の確保に寄与するものと考えている。なお市税確保のために長期高額滞納者の差し押さえなどの滞納処分を行っているが、一方では、実態の調査に基づき生活困窮者などに対しては滞納処分の執行停止を含め、よりきめ細かに対応していきたいと考えている。

また、土日開庁実施による成果としては、1月が7日間の開庁で81件、125万8,900円、2月が9日間で108件、235万300円の納付があり、市民の利便性に併せて収納率の向上になっているものと考えている。

☆詳しくは会議録やインターネットで

市議会では、定例会や臨時会ごとに「上尾市議会会議録」を発行しています。議案の審議内容や一般質問の内容など詳しくお知りになりたい人は、議会事務局、図書館、各支所・出張所、情報公開コーナーなどで閲覧できます。

⇒議会事務局(☎775-9467)

<http://www.gikai.ageo.saitama.jp>

傍聴席からひとこと



こばやし ようこ
小林洋子さん
(谷津)

議会には初めて来
ました。市議会での
やり取りは国会など
よりも身近ですね。
主婦の立場では、ご
み問題に関心があり
ます。気になってい
た収集カレンダーの
ことなど、ちょっとしたことを具体
的に質問がされていて良かったです。
議会の日程を早めに出してもっと
PRしたらより多くの市民が足を運
ぶのではないのでしょうか。

自然環境の保全や
保育問題などに関心
があり、初めて議会
の傍聴にきました。
議員の真剣な一般質
問の様子は、頼もし
く心強く思われまし
た。反面、執行部は
経緯説明に終始し、
表面的な答弁のように感じました。
再質問の際にも、もう一步踏み込ん
だやり取りを聞かせてほしいと思
います。また、上尾市がより発展す
るためには、大勢の人に傍聴してい
ただくことがよいと思います。



きのしろ たつお
木代辰雄さん
(本町)

編 集
後 記

三位一体の改革な
ど、国と地方自治体
の財政が大きく変わ
ろうとしている中、
我が上尾市でも平成
16年度当初予算が成立しました。そし
て上尾市・桶川市・伊奈町の2市1町
の合併問題も動き出しました。

市政に対する市民ニーズがますます
多様化し、これまでのさまざまな課題
に加え新たに合併問題など行政課題が
山積する中で、市民の皆さんへの正確
で早い情報伝達の重要性を感じていま
す。

今後は議会報のみならず、ホームペ
ージの充実などさまざまな情報媒体を
研究していきたいと思ひます。市民の
皆さんからのご意見もぜひお聞かせく
ださい。(谷澤)

～議会報編集委員～

- 遠藤朝子、谷澤公彦、清水義憲、
- 鳥村 稔、深山 孝、鳥村 充、
- 児玉 晋、鴨田幸子

－「議会だより」は再生紙を使用しています－



△ 丸山公園バーベキュー場を現地
調査する建設水道常任委員会

委員会活動

H16.1.16→H16.4.15



▷ 新生ホーム増築個所を現地
調査する福祉消防常任委員会

委 員 会 名	月・日	案 件
総務常任委員会	3. 5 3. 8	● 3月定例会提出議案6件、請願1件を審査
文教経済常任委員会	3. 9 3. 10	● 尾山台小学校大規模改造工事個所、上尾伊奈斎場 つつじ苑を現地調査後、3月定例会提出議案5件 を審査
建設水道常任委員会	3. 5 3. 8	● 上平塚土地区画整理事業区域、丸山公園バーベ キュー場、平方野球場、上尾道路の現地調査後、3 月定例会提出議案16件を審査
福祉消防常任委員会	3. 9 3. 10	● 新生ホーム増築個所、民間保育所・桜樹会「白ば ら学園」、上尾あゆみ会宿泊訓練施設改修工事個所 を現地調査後、3月定例会提出議案8件、請願1 件を審査
議会運営委員会		● 議会運営について協議(協議回数5回)
議会報編集委員会	1. 20 3. 23	● 「あげお議会だよりNo.124」の内容について協議 ● 「あげお議会だよりNo.125」の内容について協議

意見書6件を原案可決

3月定例会最終日の23日、議員提出
議案として意見書7件を提出し、6件
を可決し、1件を否決しました。可決
した意見書の件名と提出先は次のと
おりです。

◆生活関連公共事業費の増額に関する
意見書

提出先⇒内閣総理大臣、財務大臣、
国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

◆介護保険制度の見直しに向けて安心
して受けられる制度にすることを求め
る意見書

提出先⇒内閣総理大臣、財務大臣、
厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

◆ディーゼル車排ガス規制に関する
意見書

提出先⇒内閣総理大臣、国土交通大
臣、経済産業大臣、埼玉県知事、衆議
院議長、参議院議長

◆生活保護制度の改善・拡充を求める
意見書

提出先⇒内閣総理大臣、財務大臣、
厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長
◆65歳まで働ける雇用環境の整備を求
める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、厚生労働大
臣、衆議院議長、参議院議長

◆独立行政法人都市再生機構法に対す
る国会附帯決議の全面的実現を求め
る意見書

提出先⇒内閣総理大臣、国土交通大
臣、衆議院議長、参議院議長

* 次回の6月定例会は、6月7日に開会の予定です。

傍聴など詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

●上尾市議会ホームページアドレス
<http://www.gikai.ageo.saitama.jp>

開会中は、本会議のテレビ中継を市役所1階でご覧いただけます。